



港区新橋5-15-5
交通ビル

国労東日本本部

発行責任者 高野苗実
編集責任者 伊藤隆夫

2012年
1月31日
NO. 3

ダイジェスト版

支えあい笑顔で作る
明るい職場、あなたの
加入が未来へつなぐ!!

HP <http://www.e-nru.com>

「駅業務委託のさらなる推進」提案に 対する申9号交渉が開催される

営業職場の将来展望の一端が明らかに!

1月31日、「駅業務委託のさらなる推進」提案に対する申9号に基づく団体交渉が開催されました。会社回答のポイントを報告します。

<会社回答のポイント>

【駅の将来展望】

- 駅の重要性については、今後ともかわるものではない。
- 大量退職期を迎え、新規採用者で穴埋めするのは困難なことから、業務委託を拡大していく。
- プロパー社員も活用し、JR東日本グループ全体として、駅の体制を維持していきたい。
- 最近は、お客様自身がインターネット等を活用し経路や運賃を調べているため、駅で尋ねられる機会が減少している。会社が自動券売機等に慣れてもらうように促してきたことが浸透しつつある。
- 今後はそれぞれの駅の実情を踏まえて、指定券券売機などの機械化を進め、お客様に馴染んでもらうことで効率的な販売体制を強化していく。

【偽装請負、コンプライアンス】

- 業務委託については、支社と請負会社間で業務の詳細な取り決めを契約している。偽装請負にならないように対応していく。
- 業務委託を推進するうえで、守らなくてはならないルールはしっかり守っていきたい。

【技術継承】

- 駅の今後の体制は、社会人採用社員を中心につくっていきたい。
- 今後は改札案内が中心になっていく。高い知識が必要であったマルスが誰でも使いやすいように改良されてきている。業務を簡略化しながら、技術も維持していきたい。

「駅あり」5年間を検証し、支社交渉に生かそう!